

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
【発行日】 令和 5 年 8 月 7 日(2023.8.7)

【公開番号】 特開 2021-137552(P2021-137552A)
【公開日】 令和 3 年 9 月 16 日(2021.9.16)
【年通号数】 公開・登録公報 2021-044
【出願番号】 特願 2020-207716(P2020-207716)
【国際特許分類】

A 4 7 C 21/08(2006.01)

A 6 1 G 7/05(2006.01)

【F I】

A 4 7 C 21/08 Z

A 6 1 G 7/05

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 5 年 7 月 28 日(2023.7.28)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

樹脂により一体的に形成された樹脂部材と、
前記樹脂部材内に設けられ金属からなる第 1 バー部材と、
前記樹脂部材内に設けられ金属からなる第 2 バー部材と、
を備え、
前記樹脂部材は、
板状のフレーム部と、
前記フレーム部の下端から突出した第 1 突出部及び第 2 突出部と、
を有するサイドレール。

30

【請求項 2】

前記第 1 バー部材は、前記第 1 突出部内に配置された第 1 補強部を有し、
前記第 2 バー部材は、前記第 2 突出部内に配置された第 2 補強部を有する、
請求項 1 に記載のサイドレール。

【請求項 3】

前記樹脂部材は、前記フレーム部の上端から突出した第 1 連続部及び第 2 連続部と、を
さらに有し、

前記第 1 バー部材は、
前記第 1 連続部内に配置された第 1 上部と、
前記フレーム部内に配置された第 1 中間部と、
をさらに有し、
前記第 2 バー部材は、
前記第 2 連続部内に配置された第 2 上部と、
前記フレーム部内に配置された第 2 中間部と、
をさらに有する、
請求項 2 に記載のサイドレール。

40

【請求項 4】

前記第 1 補強部と前記第 2 補強部は相互に平行であり、

50

前記第 1 上部と前記第 2 上部は前記フレーム部から離れるにつれて相互に離れるように傾斜している、

請求項 3 に記載のサイドレール。

【請求項 5】

前記第 1 バー部材は、前記フレーム部内において屈曲している、

請求項 4 に記載のサイドレール。

【請求項 6】

前記第 1 バー部材と前記第 2 バー部材は相互に平行である、

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 つに記載のサイドレール。

【請求項 7】

前記樹脂部材は、前記フレーム部の上端から突出した第 1 連続部及び第 2 連続部と、をさらに有し、

10

前記第 1 バー部材及び前記第 2 バー部材は、前記第 1 連続部内及び前記第 2 連続部内には配置されていない、

請求項 1 または 2 に記載のサイドレール。

【請求項 8】

前記樹脂部材は、

全長にわたって前記フレーム部と連結し、第 1 延在方向に沿って延び、前記第 1 連続部及び前記第 2 連続部と繋がる第 1 延在部と、

前記第 1 延在部上に配置され、前記第 1 延在方向に対して傾斜した第 2 延在方向に沿って延び、前記第 1 連続部及び前記第 2 連続部と繋がる第 2 延在部と、

20

をさらに有し、

前記樹脂部材には、前記第 1 連続部、前記第 2 連続部、前記第 1 延在部及び前記第 2 延在部によって囲まれた第 1 の間隙がある、

請求項 3、4、5 および 7 のいずれか 1 つに記載のサイドレール。

【請求項 9】

前記樹脂部材は、

前記第 2 延在部上に配置され、前記第 2 延在方向に対して傾斜した第 3 延在方向に沿って延びる第 3 延在部と、

前記第 3 延在部上に配置され、前記第 3 延在方向に対して傾斜した第 1 方向に沿って延び、前記第 3 延在部と繋がる第 4 延在部と、

30

をさらに有する、

請求項 8 に記載のサイドレール。

【請求項 10】

前記第 2 延在方向と前記第 1 方向との間の第 2 角度は、前記第 1 延在方向と前記第 1 方向との間の第 1 角度よりも大きく、

前記第 3 延在方向と前記第 1 方向との間の第 3 角度は、前記第 2 角度よりも大きい、

請求項 9 に記載のサイドレール。

【請求項 11】

前記樹脂部材は、

40

前記第 1 連続部、前記第 2 延在部及び前記第 3 延在部と繋がる第 3 連続部と、

前記第 3 連続部、前記第 3 延在部及び前記第 4 延在部と繋がる第 4 連続部と、

前記第 2 連続部、前記第 2 延在部及び前記第 4 延在部と繋がる第 5 連続部と、

をさらに有し、

前記樹脂部材には、前記第 3 連続部、前記第 5 連続部、前記第 2 延在部、前記第 3 延在部及び前記第 4 延在部によって囲まれた第 2 の間隙がある、

請求項 9 または 10 に記載のサイドレール。

【請求項 12】

第 1 孔及び第 2 孔が設けられたフレームと、

請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 つに記載のサイドレールと、

50

を備え、

前記第 1 突出部が前記第 1 孔内に挿入され、

前記第 2 突出部が前記第 2 孔内に挿入される、

ベッド装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

10

実施形態によれば、サイドレールは、樹脂により一体的に形成された樹脂部材と、前記樹脂部材内に設けられ金属からなる第 1 バー部材と、前記樹脂部材内に設けられ金属からなる第 2 バー部材と、を備える。前記樹脂部材は、板状のフレーム部と、前記フレーム部の下端から突出した第 1 突出部及び第 2 突出部と、を有する。

20

30

40

50